

材料中のアウトガス・放散量の測定

日本環境は高度な技術とノウハウを駆使し、企業の環境パートナーを目指しています。



- 建材……………小型(20L)チャンバー法 (JIS A 1901 など)
- 自動車部品…サンプリングバッグ法
- パソコン……………小型(1m³)チャンバー法

(パソコンに関する VOC ガイドライン:(社)電子情報技術産業協会 JEITA)

小さなもの(電子部品)から、大きなもの(パソコン)まで

公定法が存在しない電子部品や、沸点が高く分析が困難なフタル酸エステル類や農薬類においても、加熱チャンバーなどを用いて、お客様の希望される分析に対応致します。お気軽にご相談下さい。

● サンプルング方法

加熱チャンバー(電子部品など)



20L チャンバー(建材など)



サンプリングバッグ(自動車部品など)



1m³チャンバー(パソコンなど)



● 定量方法

アルデヒド類は HPLC、VOC 類はガス分析で評価の高い、加熱脱着-GC/MS システムにより分析します。

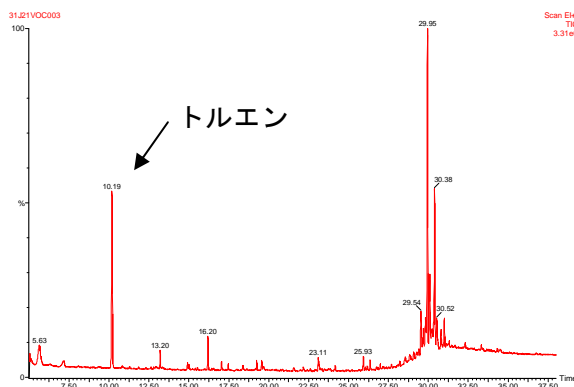
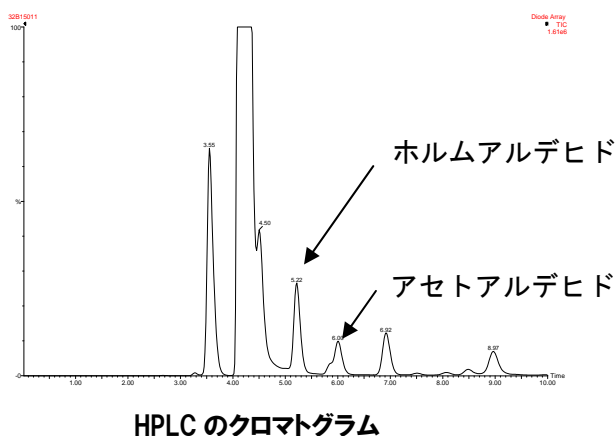


■主な対象製品

建 材 : 合板、パネル、ボード、ロール、接着剤、塗料、カーペット、ポリカーボネイトなど
電気・電子部品 : ハードディスク、プリント基板、製品(小型のもの)、シリコンウェハーなど
自動車部品 : 内装材、接着剤、粘着テープ、合成樹脂部品、合成皮革など
パソコン/事務機器: デスクトップ/ノートパソコン、プリンターなど

■測定事例

ポリマーから発生した VOC 分析



測定対象物質(例)と室内濃度指針

測定対象物質	室内濃度指針値
ホルムアルデヒド	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.08ppm)
アセトアルデヒド	48 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.03ppm)
トルエン	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppm)
キシレン	870 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.20ppm)
パラジクロロベンゼン	240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)
エチルベンゼン	3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88ppm)
スチレン	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm)
テトラデカン	330 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)
フタル酸ジ-n-ブチル	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppm)
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (7.6ppb)
クロロピリホス	1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppb)
ダイアジン	0.29 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.023ppb)
フェノカルブ	33 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (3.8ppb)

注意: 上記一覧表は厚生労働省の室内空気に関する濃度指針であり、材料からの放散量とは基準値及び単位などが異なります。

ISO/IEC17025 を取得した
中央研究所(横浜市金沢区)



● RoHS/ELV 分析の
お問い合わせ先:



日本環境株式会社

環境計量証明事業所
www.n-kankyo.com

● 神奈川事業所	〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-12-31	TEL.045-501-8271	FAX.045-502-0437
東京事業所	〒134-0091 東京都江戸川区船堀 5-11-19	TEL.03-5661-8131	FAX.03-5661-8132
横浜事業所	〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-1-13	TEL.045-780-3851	FAX.045-780-3849
大阪事業所	〒533-0013 大阪市東淀川区豊里 1-7-23	TEL.06-6990-7571	FAX.06-6990-7572
本社	〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-12-31	TEL.045-501-8651	FAX.045-504-0610